

事務事業評価表

○基礎情報

課名		社会教育課(小和田公民館)	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			時間外勤務時間	
施策目標	5	自分を見つめ、地域を見つめる社会教育と文化財保護を推進する	山田 佳世恵	管理職	左記以外	再任用短時間職員	臨時職員	非常勤嘱託職員	総時間	一人あたり月平均
				1 人	1 人	1 人	3 人	4 人	141 時間	11.8 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	3次実施計画の 現状値	目標値 (30年度)	実績値			
			26年度	27年度	28年度	29年度
社会教育主催事業・イベントの参加者数	46,223人	49,000人	47,107人	48,593人	48,282人	42,918人
文化財の指定件数	41件	47件	43件	45件	43件	
0	0.0%	0				

(評価の見方)

- ・ S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・ A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・ B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・ C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・ D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・ E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・ Z 未着手事業(中核市関連のものを含む)
- ・ 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった
(実施計画期間中で当該年度は実績のないものを含む)

2 事業実績(平成29年度)

No.	事務事業名 (第3次実施計画)	事務事業の目的・目指すべき成果・効果	Plan / Do									総合評価 (Check)			Action		
		何を・誰を (対象)	どうやって働िका け(手段・方法)	どうしたいか(生ま れる成果・効果)	事業 性質	従事 者数	会計 区分	H28予算(円) H28決算(円)	H29予算(円) H29決算(円)	事務事業の指標名	H29目標値	H29実績値	評価	取組 時間	見直し検 討可能性	業棚 選定	休・ 廃止
1	家庭教育支援関連 事業	市民の学習活動の活性化を図り、家庭教育 支援を推進する。	定例 定型	0.39	一般	----- -----	202,000 192,100	226,000 203,500	開催事業数(年間)	4事業	8事業(1,354人)	S	増加				
2	子ども事業	公民館で活動するサークルや団体、ボラン ティアの協力を得ながら、子どもや親子を対 象に体験学習を実施し、地域のふれあいや 仲間作りを促進する。	定例 定型	0.81	一般	----- -----	200,000 190,000	235,000 195,000	開催事業数(年間)	11事業	13事業(1,388人)	S	変動 なし				
3	社会的要請課題を テーマとした事業	様々な現代社会における課題の解決に向 けて、学習の場を提供し、学習活動の活性 化を図る。	定例 定型	0.59	一般	----- -----	135,000 130,700	138,000 137,700	実施事業数(年間)	8事業	14事業(504人)	S	増加				
4	学習情報の提供	講座等の公民館事業など、地域や学習者の ニーズに応じた情報の提供を行う。	定例 定型	0.18	一般	----- -----	15,000 15,000	0 0	情報誌の発行回数(年 間)	6回	6回	S	変動 なし				
5	学習成果の還元事 業	学習成果を生かす機会や発表と交流の場を 提供する。	定例 定型	0.69	一般	----- -----	240,000 230,000	235,000 233,000	事業数(年間)	3事業	4事業(6,395人)	S	増加				
6	公民館ふれあい事 業	学習の機会を提供し、参加しやすい事業を 通じて市民の学習活動とコミュニケーション を図り、仲間づくりやサークル化を目指す。	定例 定型	0.52	一般	----- -----	70,000 68,000	100,000 84,600	開催事業数(年間)	4事業	7事業(944人)	S	増加				

7	次世代育成ネットワーク事業	地域の教育機関や団体と連携し、次世代の育成を図る。	定例 定型	0.10	一般	0 0	0 0	連携する事業数(年間)	2事業	3事業(159人)	S	増加			
8	地域交流事業	地域交流の場を提供し、文化の伝承と地域交流、ふれあいの場を提供する。	定例 定型	0.49	一般	265,000 263,400	326,000 262,600	開催事業数(年間)	3事業	7事業(1,071人)	S	増加			
9	公民館運営審議会	各種事業の企画・実施について、調査・審議を行う。	定例 定型	0.16	一般	315,000 314,200	315,000 263,900	運営審議会の開催回数(定例会)	4回	4回	S	変動なし			
10	公民館利用者活動支援事業	社会教育施設である公民館を運営するための業務管理を行う。	定例 定型	1.61	一般	8,261,000 8,196,694	8,220,000 8,164,978	利用件数(年間)	4,500件	3,545件(62,452人)	A	変動なし			
11	施設維持管理	公民館施設の維持管理を行う。	定例 定型	0.24	一般	9,247,000 9,172,675	10,355,000 9,875,576	開館日数(年間)	306日	306日	S	変動なし			
12	施設保守点検	施設設備の保守点検を委託する。	定例 定型	0.21	一般	0 0	0 0	保守点検実施回数	1～4回	4回	S	変動なし			
13	災害応急対策活動	-	定例 定型	0.07	一般	0 0	0 0								
14	庁内共通業務	-	定例 定型	0.08	一般	0 0	0 0								
合計				6.14		H29総予算(円) H29総決算(円)	20,150,000 19,420,854								

3 実施計画事業の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析 (Check) / 今後の展望 (Action)	
<p>< 5公民館の取組と成果 ></p> <p>平成29年度は「公民館フェスタ～茅ヶ崎市の公民館活動を見てみよう・体験してみよう！！」として、11月3日の「市民ふれあいまつり」に合わせ、イオン茅ヶ崎中央店にて、本市の公民館活動を周知する展示や、日頃各公民館で開催している主催事業をワークショップ形式で行い、参加する楽しさを気軽に体験してもらう機会を創出した。また、ホノルルウィーク展、環境展、食育展などの館内展示や、企画経営課長寿社会推進担当との共催事業(フレイルチェック)の実施など、他課との連携事業も行い、成果を挙げたと考える。</p> <p>また、インターンシップ生を受け入れ、公民館事業に携わってもらいながら、若者の視点から公民館のPR手法等について考えてもらうきっかけづくりとした。今後においても、他課との連携や公民館の対外的なPRを引き続き行っていきたい。</p> <p>< 小和田公民館の総合評価について ></p> <p>小和田公民館の第3次実施計画の事務事業数は、「災害応急対策活動」「庁内共通事務」を除き12事業である。S事業11事業、A事業1事業である。平成27年4月の松浪コミュニティセンターの開館以降、第3次実施計画策定段階における目標値(4,500件)を下回る結果となっている。施設の利用団体数に減少はみられるが、利用者数は増加していることから、目標値には達していないが、一定の成果を果たしているとしA評価とした。</p> <p>職員の時間外勤務においては、総時間141時間、一人当たりに換算すると月平均11.8時間であり、前年度の総時間31時間、一人当たり月平均2.6時間と比較すると増加している。平成29年度は、4月に常勤職員、再任用職員の2名が人事異動となったことも要因としてあげられる。また、平成29年度においては、数年に1度の長期継続契約事務、老朽化に伴う緊急繕いの対応などがあったことも要因であり、次年度以降は、減少する見込みとなっている。</p> <p>公民館の事務事業の大きな柱である、講座等の自主事業の実施に係る実績数は、第3次実施計画期間の当初の目標値を大きく上回る結果となっている。平成29年度に実施した自主事業のアンケートの集計では、「大変満足70%」「まあまあ満足24%」を合わせると、「満足している」という感想が94%、「普通6%」であり、参加者が事業に「満足している」結果となっている。また、「初めて参加した」が38%と、新たな参加者が増加している傾向にある。毎年、新しい事業を提案している結果であると考え。しかしながら、アンケート結果からは、女性80%、男性20%と、女性の参加が多い結果となっており、今後は、よりいっそう男性の参加しやすい事業や環境づくりが必要であると考え。</p> <p>昼間人口の増加に伴い、地域で過ごす市民の数が増加し、生涯にわたる学びの機会や、健康長寿のための取り組み等が求められている。そういった点で、公民館の自主事業の実施における参加者数の増加は、市民ニーズに適った事業や社会的な課題を取り上げた事業を実施している成果だと考えられる。継続的に庁内で地域課題を共有していくことで、よりいっそう暮らしやすいまちづくりに公民館が寄与できると考えられる。事業の実施件数の増加は、取組時間も増加する傾向となるが、事務事業の手続きの見直しを行いながらも、事業を実施していきたい。</p> <p>また平成29年度は、松浪コミュニティセンターを会場とし、共催で事業を実施した。今後も公民館を拠点とした事業を開催するだけでなく、地域に出向き、地域課題を共有する事業の実施や、社会教育や市の教育施策の日頃からの周知など、様々な手法で公民館事業を展開していきたいと考えている。</p>	

4 見直し検討可能性にチェックの入った事業のうち休・廃止検討事業

No.	事務事業名	休・廃止検討の理由
-	-	-

5 働かたの見直しにおける取組結果(28-29年度の2か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

No.	事務事業名	取り組みの結果
11	施設維持管理	公民館の管理に係る業務委託等の契約手続きの見直しを行った。公民館で共通する業務の契約並びに期間の見直しを行い、経費削減と契約等に係る職員の事務の効率化を図った。(清掃業務委託の長期継続契約化、警備委託の長期継続契約化、複写機の賃貸借契約の統合)
-	-	-